

---

427

哀戦士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

427

### 【Nコード】

N2423F

### 【作者名】

哀戦士

### 【あらすじ】

427。それは、あるひとつのメッセージ……。普通の高校生活だったのになぜにこんなことになったのか！？それを知るのは、先生だけさ。

427。

知ってるかい？

知らないなら教えてあげる。

427は、

死にな。

「たけるー！この宿題、写させてくれ！！」

友達に、宿題を教えてとねだる僕の名前は、坂本 兼  
ごく普通の高校生です。      だけど……。

「そんなぐらい自分でやれって！簡単でしょ！？」

「そこんところお願いします。俺達、長い付き合いだろ？」

こんなに熱心をお願いするには、理由がある。

それは、

殺されて・・・しまつから・・・。

「お願いだって。じゃなきゃ、俺、死んじまうよ。」

「・・・。」

そう言うと、友達のたけるは、だまってノートを渡してきた。

「はやくしろよ・・・。こっちだって見つかったら・・・、殺されんだからさ。」

ガシャシャシャ・・・。

「やべえ、先生がきた・・・。おい、ちよつと！」

たけるは、先生が来たとたんに俺に渡したノートを奪った。

「ごめんな、たける……、こつちも死にたくないんだよ……。」

先生がそつと口を開く。

「今から、宿題チェックをしますから、ノートを机にだして。」

先生がチェック表を持って、一番右の列の一番前の安藤の席に来た。

「あれ……、安藤君。ノートは？」

「わ、わ、忘れました……。で、ですが、ちゃんとやったんですよ！だけど、家に忘れてしまって……。ほんとちゃんとやったんです。」

そんな安藤の言葉に、先生は聞く耳をもたずに右手をズボンのポケットにいれて……。

「427。」

バアーーーーーン！

銃声が教室中に鳴り響いた。

皆がざわめきたつ。

だが、先生は、そんなことをお構いなしにどンドンチェックをしていく。

そして、俺の席に近づく。

俺は、この時に何度も「このまま、時がとまってほしい」と思った  
だろうか。

だが、その願いもむなしく……。

「坂本君、ノートは？」

そう言われた瞬間、俺は先生を押しつけて教室に走って出て行った。  
このまま逃げれば、助かると思った、その刹那……、

バアーーーーー！！

バタツ……………。

「宿題を忘れた奴は、427。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2423f/>

---

427

2011年10月5日10時16分発行